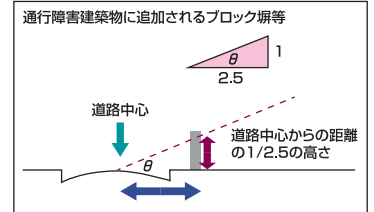
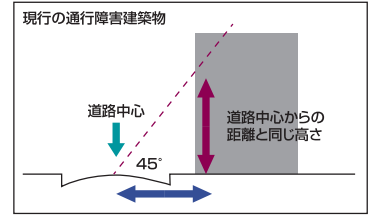


ブロック塀を、安全性と景観に優れた木塀に!

削孔支柱ピン工法



国産木材を使用した次世代の木塀のイメージ



ピン工法改修時の様子

ブロック塀の耐震化に関する法改正

国産木材を使った木塀に関するガイドライン

2018年6月の大阪府北部を震源とする地震におけるブロック塀等の倒壊被害を受けて、建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令が施行され、ブロック塀もその適用を受けることになりました。その中で、東京都は、「国産木材を活用した塀等の設置ガイドライン」を作成しました。主に「多摩産木材」を原材料とした木塀の設置が推奨されています。

削孔支柱ピン工法の3つの特長

■長寿命化

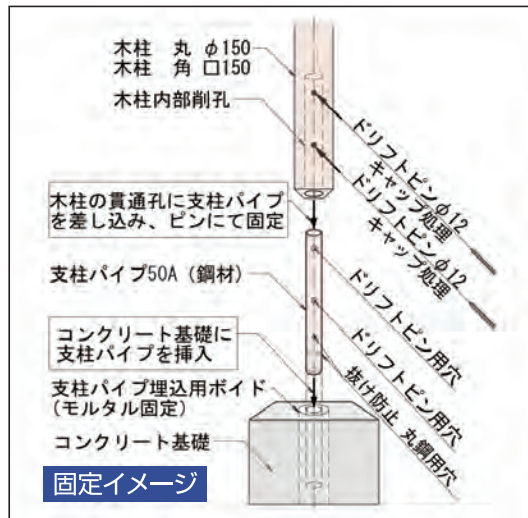
高耐久含浸木材「Imp reg wood」の技術に加え、金属製の支柱パイプを木材内部に差し込むことにより、浸水による金属部分のさびの発生や腐食を防ぐことができます。

■設置がかんたん

構造がシンプルで部品点数も少ないため、組立・設置の手順がかんたんです。設置期間の短縮により施工コストを抑えることにもつながります。

■交換が容易

固定方法がシンプル、かつ木部材のみの脱着が可能な構造のため、ピンを外すだけで将来的な木部材の交換にも容易に対応が可能となっています。

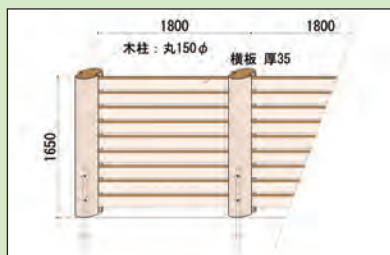


実用新案登録 第3228296号

状況に応じて、2つのタイプからお選びいただけます

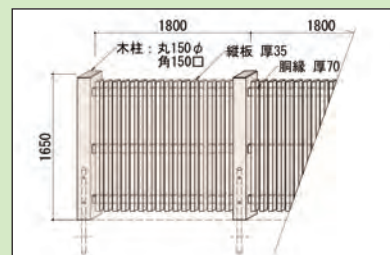
■横張りタイプ

38,000/m ~ (杉材、目透かし)

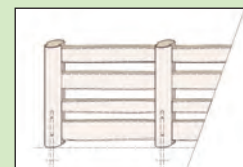


■縦張りタイプ

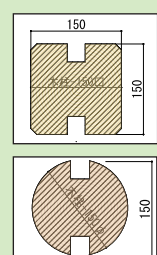
46,000/m ~ (杉材、目透かし)



■自然風木板使用の例



■木柱の形状



ご希望に応じて、木柱の形状(丸・角)や、構造タイプ(目かくし・目透かし)もお選びいただけます。その他、自然風木板の使用や木部用塗料での塗装など、さまざまなバリエーションに対応が可能です。